

第3章 導入機能

3-1 導入機能一覧

第2章の「整備方針」を踏まえ、基本構想に定める「文化力の拠点」のコンセプトを着実に実現する機能を導入するとともに、施設のメインユーザーを通じた機能間の相互作用により、交流促進や賑わい創出への好循環が生み出されるような機能の導入を図ります。

【「文化力の拠点」導入機能】

コンセプト	機能	メインユーザー	規模感※ (㎡程度)	民間提案※	備考
創造・発信	多目的情報発信スペース (コンシェルジュ機能含む)	交流客	1,000		
	食の都、茶の都 (食の都仕事人等レストランや緑茶カフェ等)	交流客 学生、留学生	2,500	民間	
	花の都 (施設内外を本県の多彩な花で装飾など)	交流客 学生、留学生	—		
学ぶ・人づくり	大学コンソーシアムの拠点 (ICTスタジオや講義・演習室等)	学生、留学生	1,000		
	共同研究拠点 (様々な研究者の共同研究スペース)	研究者、学生 留学生	300		
	図書室機能	学生、留学生 世代を超えた人々	5,000 程度		
	古代東海道を活用した 歴史資産展示スペース	交流客	400*		覆屋
出合い・交わる	迎賓機能(特別応接室、会議室) (海外からの賓客等)	交流客	300		
	宿泊機能	交流客	5,000	民間	共用含む
	国際学生寮 (留学生、日本人学生用)	学生、留学生	6,000		
	外資系企業向けレンタルオフィス ビジネスインターン向け宿泊施設	海外ビジネス インターン	200		
その他	業務・研究オフィス、アトリエ、スタジオ 若者の出合い等に資する多目的ホール		—	民間	
	共用施設 (共用施設、サービス施設、管理施設、設備室)	—	10,870	一部 民間	民間部 1,670㎡
	駐車場(大型車平面駐車場約3,000㎡は別途)	—	16,375		
	(駐車場台数：台)		(675)		
建物部 計(*を除く)			48,545		
駐車場除き面積			32,170		
駐車場及び民間除き面積			23,000		

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

3-2 各導入機能の内容

■「創造・発信」に関する機能

(1) “ふじのくに”の「文化力」を発信する機能

～多目的情報発信スペース・コンシェルジュの配置～

- 世界遺産富士山をはじめ、韮山反射炉や南アルプスエコパーク、伊豆半島ジオパークなど、本県の世界水準の魅力を国内外に発信します。
- 本県の多彩で豊富な食・茶・花の都の魅力や文化を発信し、産地や拠点施設に誘います。
- 県立美術館やふじのくに地球環境史ミュージアム等のサテライト展示により、県内の文化施設の魅力を紹介し、各施設の訪問を促します。
- 本県の民俗芸能や建造物等の文化財の魅力、遺跡等の歴史的な価値を、映像や実物の展示により伝えていきます。
- 本県が誇る伝統工芸や家具・ホビー産業などに関する歴史・文化を紹介するとともに、作品の展示やふれあう機会を提供します。
- 本県の文化や産業、観光に関する情報提供を通じて、世界水準の魅力の地への誘うなど、来訪者の多様なニーズにきめ細かな対応ができるコンシェルジュ機能を導入します。

【概要】



項目	内容
想定する メインユーザー	国内外からの交流客
施設・設備	映像装置、展示パネル、コンシェルジュカウンター など
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・展示内容の更新や展示レイアウトの変更、イベントや講座での活用などに対応できるような空間構成 ・交流客が地域情報等を収集できるよう、コンシェルジュの配置、各種パンフレットの配布（多言語対応）、Wi-Fi 環境の整備、情報端末の設置等の配慮
規模感*	1,000 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>多目的情報発信スペース（提供：樹空の森）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンシェルジュの配置</p> </div> </div>

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

(2) 「食・茶・花の都」の創造・発信機能

- 豊富な食材を活かした食を提供するレストランや、厳選された県内農林水産物の販売施設などを設置し、「食材の王国」である本県の多彩な「食」の魅力を発信します。
- 「緑茶カフェ」の設置や留学生等のお茶の淹れ方の体験等により、お茶を楽しみ、歴史や文化に触れることができる機会を提供し、「茶の都しずおか」から茶の魅力を国内外に発信します。
- 施設の内外を本県産の多彩な花々で飾ることにより、花と緑があふれる「ふじのくに『花の都』しずおか」を発信します。

【概要】

項目	内容	
想定する メインユーザー	国内外からの交流客 学生をはじめとした若者、留学生	
施設・設備	(食の都) レストラン・食堂・農林水産物販売施設 (茶の都) 緑茶カフェ・体験教室 (花の都) フラワーポットや花壇の設置、屋上や壁面への施設緑化 など	
施設整備の 考え方	○国際的に認知されるようなテーマ性を持った民間提案を求めます。	
	食の都	<ul style="list-style-type: none"> ・食の都仕事人等による県産食材を使用した料理を楽しむことができるレストラン ・B級グルメなど地域ならではの庶民的な料理を、手軽に味わえる食堂 ・高品質で多彩な県内農林水産物の販売施設
	茶の都	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の銘柄茶とお菓子を楽しみながら、楽しい時間を過ごすことができる「緑茶カフェ」 ・お茶の淹れ方等の体験教室の開催
花の都	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内へのフラワーポットや屋外への花壇の設置、屋上や壁面への施設緑化等、本県産の花による空間の演出 	
規模感*	2,500 m ² 程度 (食の都・茶の都)	
(参考) 施設・設備の イメージ		
	茶の都 (お茶の淹れ方体験イメージ)	花の都 (多彩な花による装飾イメージ)

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

※専門家会議では、食の都・茶の都を「民間提案を求める (または期待する) 機能」と提示し議論

【情報発信を行っていくコンテンツの例】



国内外への情報発信




■ 「学ぶ」「人づくり」に関する機能

(1) 大学コンソーシアムの拠点機能

- 本県の高等教育の一層の向上と地域社会の発展へ寄与することを目的とする「大学コンソーシアム」の活動拠点としての機能を果たします。
- 県内高等教育機関の教育連携を進めるため、ICTを活用した共同授業の開催など、教育研究の場を提供します。
- 「富士山学」の公開講座の開催など、本県の自然現象・地域環境・生活の特徴・歴史などを各分野から掘り下げ、分析した内容の講義を行い、本県ならではの学びを提供します。
- 地域貢献推進拠点の設置等により、地域課題の解決策を講じる機能を果たします。
- 異なる大学の学生間や学生と教員など幅広い交流を促進するとともに、学生活動を支援する機能を果たします。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	学生をはじめとした若者、留学生
施設・設備	ICTスタジオ、共同サテライト教室（講義・演習室）、企業等相談室、交流スペース、学生共同作業室
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる講義の配信や遠隔会議が可能となる放送局の開設 ・単位互換授業、公開講座の開催が可能な講義室・演習室を設置 ・地域課題の解決に向けた相談、話し合いの場の提供 ・学生ホール等の学生交流やその他のフリースペースの提供 ・サークル活動やゼミの活動拠点としての共同作業スペースの提供
規模感*	1,000 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p style="text-align: center;">大学コンソーシアム講義室</p>

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

(2) “ふじのくに”の研究拠点機能 ～共同研究拠点～

- ふじのくに地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センター、(仮称)グローバル地域センターの研究者が、集い、情報交換・意見交換する場を提供することにより、施設相互間や大学等との連携を促進します。
- 地域学(富士山学等)の拠点として、共同して「学」を究めるとともに、留学生や大学院生等への教育の拠点としての機能を果たします。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	県内の学術、文化関係機関の研究者、留学生・大学院生等
施設・設備	交流サロン、共同研究室
施設整備の 考え方	・ふじのくに地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センター、グローバル地域センター及び大学の研究者や大学院生、留学生等が情報交換をはじめ、自由に意見を交換する場(交流サロン、共同研究室)を提供
規模感※	300 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p style="text-align: center;">共同研究拠点</p>



※専門家会議に提示し、議論を行った数量

(3) 大学生・留学生等の学びの支援機能／県民の生涯学習支援・読書推進機能

～図書室～

- 本県の歴史や文化等に関する書籍を収蔵し、世代を超えた人々が、静岡について学ぶことができ、「ふじのくにのことなら何でも分かる」場を提供します。
- 辞典類等を収蔵し、学生や留学生の学習を支援します。
- 芸術や文学、音楽、外国語資料など、文化について幅広く学べる場を提供します。
- 子どもやその保護者等が、世代を超えて集い、児童書等の閲覧などを通じて、本県の歴史・文化に親しみ学ぶことが出来る場を提供します。
- 「文化力の拠点」と県内市町立図書館とを繋ぐハブ機能を導入し、県内全地域の図書、資料をワンストップで入手できるフロントデスクの役割を果たします。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	大学コンソーシアムの学生や留学生 子どもやその保護者をはじめ世代を超えた人々
施設・設備	閲覧室、研修・会議室、展示コーナー など
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県の歴史や文化に関する書籍に加え、芸術、文学、音楽等の文化に関する書籍を収蔵 ・ゆとりのある閲覧の空間を確保 ・閲覧室には開架書庫、閲覧席、学習室の他、ブラウジングコーナーを設置 ・本県の歴史・文化に関する講座や研究会を開催 ・図書室内の蔵書に加え、県内市町立図書館の蔵書の検索・貸出・返却機能を備える
規模感*	5,000 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゆとりある閲覧室内のイメージ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講座や研究会のイメージ (提供：福岡市スタートアップカフェ)</p> </div> </div>

*専門家会議に提示し、議論を行った数量

(4) 歴史資産を展示する機能

- 地域の貴重な資産である古代東海道の遺構を活用して、その歴史的価値を学んだり、後の東海道の変遷や本県と東海道との関わり等を学んだりする場を提供します。
- 道路遺構や出土品の展示を工夫するとともに、映像等を活用した視覚的な演出により、効果的に東海道を学べる施設となるよう配慮します。
- 周辺は、古代東海道を活かした水、緑が溢れるオープンスペースとしての活用を図ります。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	国内外の交流者、県民
施設・設備	遺構の展示施設、周辺は古代東海道をイメージした広場
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・地中の古代東海道の遺構を直接見られる展示施設 ・遺構部分は、展示による劣化が生じないように防湿等に十分配慮 ・遺構や出土品の展示の工夫、映像等の活用による視覚的な演出 ・周辺は水や緑溢れるオープンスペースとして活用
規模感*	400 m ² 程度（覆屋または建物）
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p>古代東海道遺構展示施設イメージ</p>


※専門家会議に提示し、議論を行った数量

■ 「出会い」「交わる」に関する機能

(1) 迎賓機能

- 外国からの賓客等を迎え、世界の宝「富士山」を眺めながら会談や会食ができる場を提供します。
- 賓客等に対して、本県の多彩で高品質な農林水産物をふんだんに取り入れた「食」や本県産銘柄茶の提供など、他では真似できない本県ならではのおもてなしを提供します。

【概要】


項目	内容
想定する メインユーザー	国内外からの交流客（海外からの賓客等）
施設・設備	特別応接室、特別会議室
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化力の拠点」の最上階に設置 ・特別応接室、特別会議室から富士山の眺望が可能となるよう部屋の方角や壁面の材質に配慮 ・内装で使用する木材には県産材を活用するほか、調度品についても、本県産の家具や伝統工芸品等を活用
規模感*	300 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p style="text-align: center;">特別応接室イメージ</p>

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

(2) 宿泊機能

- グランシップと連携して、イベント・コンベンション等の開催時における来訪者の宿泊の場等を確保します。
- 国内外からの交流者が、本県の魅力を巡る際の拠点となる宿泊・滞在の場を提供します。
- 民設民営による機能導入を図り、国際的に認知されるようなテーマ性を持った提案を求めます。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	国内外からの交流客
施設・設備	宿泊施設、レストラン、バー、カフェ
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客室から富士山の眺望が確保できるようにフロア構成等に配慮 ・ 併設するレストランやカフェでは、静岡ならではのおもてなしを提供 ・ 本県の豊富な食材を活かした食を提供するレストラン ・ 茶の都しずおかの魅力を発信するカフェ ・ ムスリムへのハラール食の提供など、交流客の多様なニーズに対応
規模感*	5,000 m ² 程度（共用部分を含む。）
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p style="text-align: center;">宿泊施設</p>



※専門家会議に提示し、議論を行った数量

※専門家会議では、「民間提案を求める（または期待する）機能」と提示し議論

(3) 留学生や日本人学生の支援機能

- 将来の本県を支え、世界に貢献するグローバル人材育成を育成するため、本県の高等教育機関で学ぶ留学生や日本人学生等に対して、入学初年度における滞在の場を提供します。
- 留学生と日本人学生が日常生活を共にすることにより、学生間の交流を深めさせるとともに、異文化理解や外国語能力の習得、国際感覚の研鑽などを促します。
- 特に留学生に対して、本県の歴史や文化を体感できるプログラムなどを提供し、本県の魅力を発信します。
- 本県企業へのビジネスインターンによる短期利用等も可能とするなど、より多彩な若者の交流拡大に配慮します。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	学生をはじめとする若者（留学生、大学生）
施設・設備	国際学生寮（インターナショナルドミトリー）
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生と日本人大学生の交流を効果的に促すよう、1部屋を複数人で利用するシェアルームを基本（留学生と日本人とで部屋をシェア） ・共同食堂、共同浴場、交流スペースを持つ寄宿舎形態 ・家具の備え付けやインターネット環境の整備等により、勉学に集中できる環境に配慮 ・幅広い国々の留学生の受入れが可能となるよう施設面での配慮 ・ムスリムの留学生をはじめとする多文化への対応を考慮
規模感※	6,000 m ² 程度（収容想定最大 300 人）
(参考) 施設・設備の イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>共用スペース（イメージ）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>各部屋</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">国際学生寮</p>

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

(4) 海外ビジネスパーソンの招致や国際交流を促進する機能

○産業のグローバル化を支援するため、外資系企業が本県への進出を検討する期間等に使用できる仮オフィススペースや、本県企業への海外ビジネスインターン向けの宿泊サービスを提供します。

【概要】

項目	内容
想定する メインユーザー	外資系企業 海外ビジネスインターン
施設・設備	外資系企業向けレンタルオフィス、ビジネスインターン向け宿泊施設
施設整備の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・外資系企業誘致のためのオフィススペース（企業進出検討時や初期段階の仮オフィス） ・県内企業で行う海外ビジネスインターン向けの宿泊施設
規模感*	200 m ² 程度
(参考) 施設・設備の イメージ	 <p style="text-align: center;"> レンタルオフィス (提供：Compass Offices Japan(株)) </p>

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

■その他の機能

その他、「文化力の拠点」に整備する機能として、以下の機能が求められます。

【その他の導入機能】

施設・設備		規模感*	考え方
共用機能	共用施設 サービス施設 管理施設 設備室	10,870 m ² 程度 ・ 宿泊機能分除く	・ 施設全体面積の 40%程度を想定
駐車機能	駐車場	16,375 m ² 程度 ・ 別途平面駐車場 (大型) 3,000 m ²	・ 既存のグランシップ駐車台数分及び「文化力の拠点」で新たに必要となる駐車台数分を確保

※専門家会議に提示し、議論を行った数量

その他、民間による提案を期待する施設・設備として、以下の施設・設備を想定しています。

- ・ 本県ならではの文化・学びに根差した民間の業務・研究オフィス
- ・ 県内のクリエイターやデザイナーの活動の場となるアトリエやスタジオ
- ・ 県民の生涯学習や、若者の出会い等に資する多目的ホール 等

■導入機能体系図

【目指す姿】 世界の宝「富士山」をはじめとする数々の世界水準の魅力を生み出してきた本県の高い文化力を国内外に発信し、人々を惹きつける拠点

【取組の視点】

- ①「文化力」を通じて、世界から人々を呼び込む視点
- ②大都市にはない静岡らしさ、個性・特徴のある発想
- ③あらゆる人に向けて本県の「文化力」の高さを発信する視点

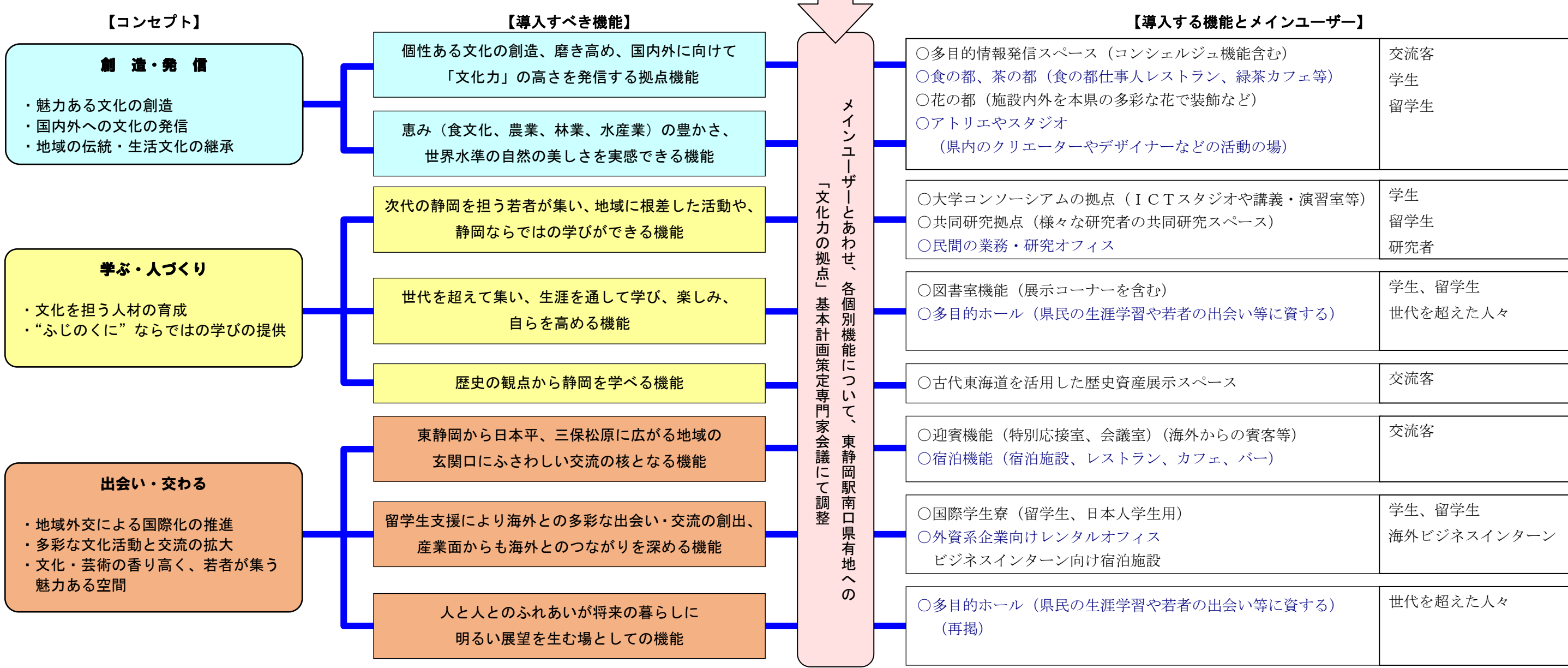
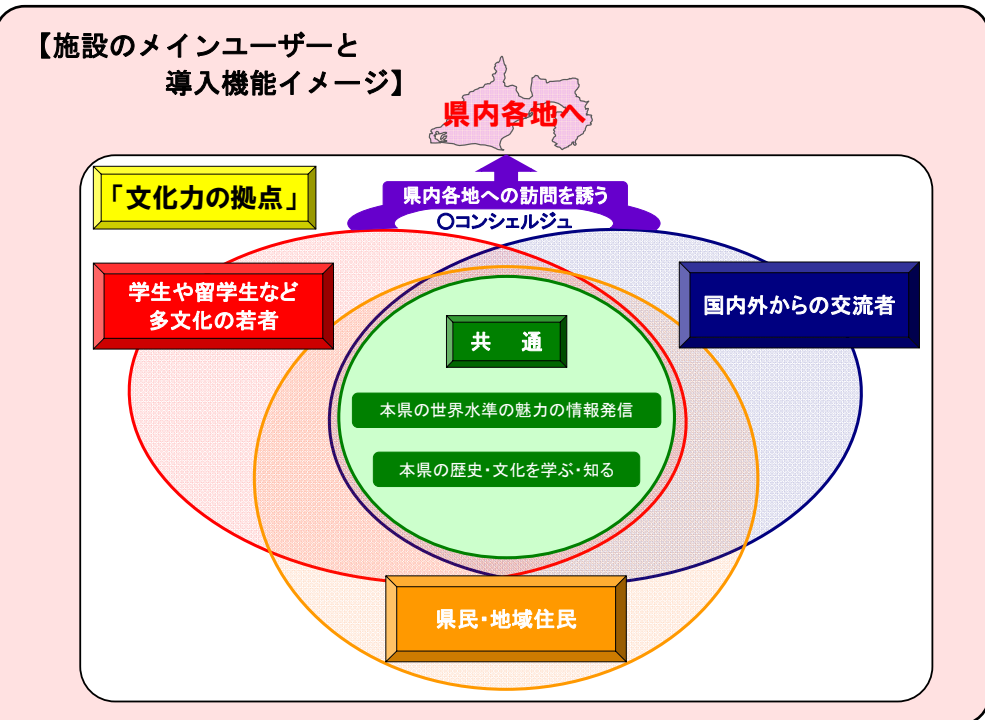
【整備方針】

(1) コンセプトの着実な実現に向けた機能の構築

(2) メインユーザーへの意識と、機能のつながりや組み合わせに配慮

○ 基本構想の3つのコンセプトの着実な実現に向けた機能を導入します。

○ 施設のメインユーザーと導入機能を整理した上で、各機能を組み合わせ、つなぎあわせ、様々な人々の交流を促進させることで、世代や国境を越えて、多様な交流や賑わいを生み出す施設にします。



※専門家会議において、「民間提案を求める（または期待する）機能」と提示し議論した機能